

「生活物品等ゆずりあいネットワーク」実施状況

(平成 29 年 12 月 1 日現在)

○ 実績数

提供者	11名2機関	44点
受取者	12名	30点

○ マッチング事例

事例1

単身世帯の転入者。引越しのため所持金がわずかであるということで、生活困窮者自立相談支援につながった。新住所地での生活に必要な家電製品を購入する余裕がないということで支援者からの要請があった。

希望物品を一斉メールで配信をしたところ、翌日、関係機関より取り置きしている物品があるとのことで、短期間で調整ができた。

事例2

一般市民の方から、家庭で親を介護するため整理をしていたところ、不要な布団が大量に出たため処分するのももったいないとのことで高齢介護課を通じて物品提供の連絡が入る。

高齢単身世帯の方で布団の購入を検討しているが、年金生活のため購入が難しいため物品提供の希望が同時に入ったため、支援者に引き取りにってもらった。